

北海道社会学会ニュース

H. S. A. NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局
〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西7丁目
北海道大学大学院教育学研究院 上山研究室
Email : hsa.sociology@gmail.com
http://www.hsa-sociology.org/ 郵便振替口座 : 02760-3-3085

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION
Kojiro UHEYAMA
Faculty of Education, Hokkaido University,
Kita11 Nishi7, Kita-ku, Sapporo, 060-0811 JAPAN

編集責任者：上山浩次郎（庶務理事・編集委員長） 北海道大学大学院教育学研究院 ueyama.kojiro@edu.hokudai.ac.jp
〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 TEL 011-706-3093

2025-2026 学会年度役員選挙の結果について

5月10日に郵送による投票が締め切られたのち、5月14日の選挙管理委員会における開票の結果、次期役員が下記の通り決定いたしました。◎が当選者で、任期はいずれも大会終了の翌日から2年間です（敬称略・五十音順・得票数略）。有権者数83人、投票総数29票、有効投票数29票（白票0票、無効票0票）。消印が締切日を過ぎていた1票を除く。

会長

◎品川 ひろみ（札幌国際大学）
次点 平沢 和司（北海道大学）

理事（定員7名）

◎金 昌震（札幌大谷大学）
工藤 遥（札幌学院大学）
◎佐々木 千夏（旭川市立大学）
◎遠山 景広（札幌大谷大学）
◎高島 裕美（名寄市立大学）
◎野崎 剛毅（札幌国際大学）
◎平沢 和司（北海道大学）
次点1 佐藤 千歳（北海商科大学）
次点2 ◎奴久妻 駿介（北海道武蔵女子大学）

※工藤会員および佐藤会員からやむをえない理由による辞退の申し出があり、選挙管理委員会で慎重に審議した結果、選挙規則第五条（三）の「特別の理由」に当たると判断し、辞退を認め、次点2の奴久妻会員を、同項の規定に基づき繰り上げ当選とした。同数票であることから、同則第五条（二）「同数票の場合、年長者を上位とする」に従い、次点1と次点2とし、次点の者を1名まで繰り上げ当選した。理事として選出された者の辞退は1名であり、もう1名は繰り上げの辞退であることから、同条（三）の「二名以上辞退が生じた場合」には該当しない。また同数票であることから、同項「次点の者を一名まで繰り上げ当選させる」に該当する。

※同則第五条（二）理事は同一大学・機関から3人ま

でとする。

監事（定員2名）

◎大國 充彦（札幌学院大学）
◎小内 純子
次点 櫻井 義秀（北海道大学）、品川 ひろみ（札幌国際大学）、新藤 慶（群馬大学）、妙木 忍（東北大学）
※選挙規則 第六条（三）同数票の場合、年長の順によって当選を決定する。

選挙管理委員会 委員長 大國 充彦
委員 工藤 遥
理事委員 高田 洋

第73回北海道社会学会大会について

第73回北海道社会学会大会は、2025年6月21日（土）に札幌大谷大学において、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催します（開催校担当：西浦 功会員）。

○会場：札幌大谷大学 C棟
札幌市東区北16条東9丁目
・地下鉄東豊線の「東区役所前」駅で下車。2番出口より徒歩7分。
・<https://www.sapporo-otani.ac.jp/access/>

○【重要】参加費の納入方法について

今回の大会では、参加費は、対面参加・オンライン参加を問わず事前振り込みとなります。参加を希望する方は6月17日（火）までに下記の口座に参加費を振り込んでください。本ニュースと同封で郵送されている払込用紙を使って、できるだけ学会年会費と一緒に納入くださいますようお願いいたします。その際、払込用紙の通信欄にて入金額の内訳（学会年会費、大会参加費）をお知らせください。なお、不参加等による返金には応じかねますので、ご了承ください。

[郵便振替口座 02760-3-3085 北海道社会学会]

○オンライン (Zoom) での参加を希望する場合は、6月17日 (火) までに参加費を振り込んだうえで、同日までに研究活動委員長の西浦までメール (isao_nishiura@sapporo-otani.ac.jp) でオンライン参加の旨お申し込みください。入金確認後、Zoom のアドレスを送付いたします。

<注意事項>

- ①当日は、開会 15 分前の 9 時 15 分から Zoom への入室 (受付) をいたします。
- ②当日は、会員確認を Zoom の表示名で行いますので、表示名を「名前 (所属)」に設定してください。
*ご自分の画面右上の「・・・」を開くと、<名前の変更>という項目があります。
- ③聴講者は、ハウリング防止のためマイク OFF (ミュート) の状態で入室してください。
- ④発表等の録音・録画は行わないでください。

○参加費 (対面参加とオンライン参加は同額です)

会 員：一般会員 2,000 円
 学生・院生会員 1,000 円
 非会員：学生・院生以外 2,000 円
 学生・院生 1,000 円

- 昼食：昼食は各自で手配をお願いいたします。大学内で昼食をとるスペースを用意しております。
- 懇親会：予定していません。
- 託児サービス：ありません。

○開催校連絡先

西浦功 会員
 TEL：011-742-1651
 E-mail：isao_nishiura@sapporo-otani.ac.jp

【会場で報告をされる方へ】

当日会場では、プロジェクターが利用可能です。Mac をお使いの方は Mac 対応のコネクタ類および念のため発表データを入れた USB をご持参ください。なお、万一プロジェクターなどが不調の際にも発表できるように、配布資料を 50 部を目安にご用意いただけますよう、ご協力をお願いします。

【学会大会の報告要旨集と配布資料について】

今大会では、報告要旨集は紙媒体では配布しません。学会ホームページから PDF ファイルをダウンロードしてください。また報告者は、配布資料がある場合は 50 部を目安に紙印刷をし、ご持参いただけますようお願いいたします。

会員異動 (2025 年 5 月 30 日まで)

《入会》(届出順、敬称略)

略

《退会》(届出順、敬称略)

略

【重要】会費の納入について

年度が改まりましたので、2025 年度分の年会費を同封の払込用紙で納入くださいますよう、お願いいたします (2025 年度の年会費を既に納入されている会員は結構です)。過年度分で未納がある会員は、あわせてお振り込みください。大会参加費 (振込期限：6 月 17 日 (火)) と一緒に年会費を振り込む方は、払込用紙の通信欄に入金額の内訳を明記してください。

[郵便振替口座 02760-3-3085 北海道社会学会]

年会費 一般会員 6,000 円
 会費減免適用者 4,000 円
 学生・院生会員 2,000 円

年会費はできるだけ早めに、遅くとも 6 月中に納入して下さるようご協力をお願いいたします。会費を 5 年間滞納されると、自然退会の扱いとなります。ご注意ください。

【再掲】『現代社会学研究』電子媒体のみに

ニュースレター137・138号での意見募集などを行いました「現代社会学研究」電子媒体一本化ですが、ニュースレター140号で報告しましたように、第72回総会で承認されました。

- ・2025 年度発行予定の第 38 号から、紙媒体での発行を止め電子媒体のみの発行とします。
- ・J-STAGE への例年の掲載時期は大会開催と同時期とします。

会員情報の更新について

住所や所属が変更になったときは、メールで学会事務局 (hsa.sociology@gmail.com) までお知らせください。その際、e-mail アドレスもお忘れなくご登録ください。ご協力をお願いいたします。

メールアドレスの登録について

年 3 回分の学会ニュースは、メールでのみお送りしています。

届いていない方がいらっしゃいましたら、お手数ですが学会事務局 (hsa.sociology@gmail.com) までご連絡をお願いいたします。

別紙 1

第73回 北海道社会学会大会 プログラム

開催日： 2025年6月21日（土）
 会場： 札幌大谷大学（ハイブリッド開催）

9:00～ 会場受付開始
 9:15～ Zoom 受付(入室)開始
 9:30～ 開会 【C棟 3F C324 教室】
 開会の辞 北海道社会学会会長 高田 洋（札幌学院大学）
 開催校挨拶 大会実行委員長 西脇 裕之（札幌大谷大学）

一般研究報告 部会 I 【C棟 3F C324 教室】 [報告 20分+質疑応答 10分]
 9:50-11:50 司会 新田 雅子（札幌学院大学）

1. 創発的自己と“語られる出所者”——スティグマの再生産の回路を問い直す対話の相互作用論
濱口 英雄（立命館大学衣笠総合研究機構）
2. 介護負担回避意識のあいまい性——異なる介護ナラティブに基づく理論構想
片桐 資津子（鹿児島大学）
3. 母子世帯所得のライフステージ上の変化と趨勢的变化
稲葉 昭英（慶應義塾大学）
4. 道東漁師町の若者たち—若手漁師の構造化された移行と出身女性の移行をめぐる解釈実践
表谷 脩平（大阪大学大学院人間科学研究科）

11:50-13:00 昼休憩
 11:50-12:50 理事会（C111 教室）
 13:30-14:30 シンポジウム打合せ（C316 教室）

一般研究報告 部会 II 【C棟 3F C322 教室】 [報告 20分+質疑応答 10分]
 13:00-14:30 司会 野崎 剛毅（札幌国際大学）

1. 中学校教諭による学校の諸問題の教育社会学的考察：学習規律の設定と学力の低い相関性
神谷 和宏（北海道大学／白老町立白翔中学校）
2. 小学校児童の学校適応と社会階層
南部 桂裕（北海道大学大学院文学院）
3. 権威主義的態度の類型と規定要因——SSP2022 データを用いた分析
濱田 国佑（駒澤大学）

一般研究報告 部会Ⅲ 【C棟3F C324教室】

[報告 20分+質疑応答 10分]

13:00-15:00

司会 金 昌震

(札幌大谷大学)

1. 東アジアのアクティブ・エイジング—研究の視点と方法

○櫻井 義秀 (北海道大学・札幌学院大学)
工藤 遥 (札幌学院大学)

2. アクティブ・エイジングの場としての除雪支援 —北海道旭川市を事例に—

三田 絵里加 (北海道大学大学院)

3. 定年期以降の男性の近隣関係と年齢、自治会活動の関連

坂無 淳 (福岡県立大学)

4. 社会運動参加と中高年者のウェルビーイング—香港の2019年の反政府デモを事例に—

伍 嘉誠 (北海道大学)

15:10-16:40

シンポジウム 【C棟3F C324教室】

テーマ 「『社会の心』を掴む手掛かりを探る」

座長 遠山 景広 (札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部)

趣旨説明 西浦 功 (札幌大谷大学)

報告1 意識の変化を捉えるための継続社会調査の強みと困難—二つの大規模調査事例に基づく考察

前田 忠彦 (統計数理研究所/データサイエンス共同利用基盤施設)

報告2 ライフコースが多様化する現代社会における「測定」との向き合い方

清水 香基 (同志社大学)

コメンテーター

平沢 和司 (北海道大学)

16:50-17:40

総会 【C324教室】

17:40

閉会の辞 北海道社会学会理事 原 俊彦 (日本医療大学)